



山口大学応用分子生命科学常盤台コロキウム

Tokiwadai Colloquium in Yamaguchi University

山口大学工学部（宇部市常盤台二丁目）

医学系研究科応用分子生命科学系（工学系）では、応用分子生命科学常盤台コロキウムを開いています。分子生命科学分野の第一人者の先生方の最先端の研究のお話を聞けるチャンスです。医学系をはじめとし山口大学のすべての大学院学生・学部学生・教職員の参加を歓迎します。また、近隣の研究機関、企業の方もどうぞお誘いあわせの上おいでください。入場無料です。

第50回 2015年2月24日（火）午前10時00分より

D22 講義室

名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所

教授 大井 貴史先生

有機イオン対の分子設計に基づく

触媒機能の創出と応用

望みの分子を組み立てる上で、アニオン種は最も基本的な試剤の一つです。第四級オニウム塩は、有機カチオンとの相互作用を介して、反応性に富むアニオン種をそのままの形で制御できる「有機イオン対触媒」としての可能性をもっています。キラルな有機カチオンからなる第四級オニウム塩を独自に設計・合成し、適切な分子修飾を施せば、構造に応じた酸・塩基あるいは求核触媒としてのユニークな働きを引き出すことができ、それを活かした選択的な合成反応が現実のものになります。本講演では、こうした「イオンに形を与えて触媒機能を生み出す」という研究の展開について、最近の成果を中心に紹介されます。

なお、この講義は医学系研究科博士後期課程の「最先端ライフサイエンス研究科目」認定の講演会です。博士課程の学生諸君は、受講簿を持参してください。多数のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先：応用分子生命科学系専攻 上村明男（9231）

理工学研究科物質化学専攻 西形孝司（9261）

